

## 『十日市中学校区クリーン作戦』 — 地域のために自分にできることを —

十日市中学校区では、毎年、十日市中学校生徒会の呼びかけにより、地域の清掃活動を行っています。学区の小中学校の生徒会・児童会・環境委員会等が合同で、十日市町の「出会いの広場」周辺や「天神公園」、三次駅周辺、地域の歩道等の「ゴミ」を拾ったりの草取りをしたり掃除をします。これを『クリーン作戦』と呼んでいます。

夏穂<sup>かほ</sup>たちも小学校六年生のときに参加しました。そして、十日市中学校の三年生となった今、生徒会執行部として『クリーン作戦』の計画を立て、小学生へ呼びかける準備を進めています。

私は、小学校六年生の時に環境委員会に所属していました。それで、七月の初めに、十日市中学校の生徒会執行部の皆さんの呼びかけで『クリーン作戦』に参加しました。正直に言うと、活動する前は、(どうしてこんなことをしているかはわからないのだらう。)と思っていました。きれいな見える通学路や、誰かが掃除をしてくださったところの公園や駅周りを、掃除する必要はないかと思いました。

けれどもそれは間違いでした。実際に行ってみると、たばこの吸い殻やビニール袋、空き缶など、たくさんの「ゴミ」が捨ててありました。(どうしてこんな所に捨てるんだらう。)と腹立たしく思いながら、私は、他校から参加している六年生や同じグループの中学生といっしょに、一生懸命「ゴミ」を拾い、掃除をしました。草を取り、ブラシで汚れをこ

すり取り、だんだんときれいになっていく様子を見て、通りがかった地域の人が「あら、夏穂ちゃん、きれいにしてくれているんだね。ありがとう。」と、声をかけてくださり、とてもうれしかったです。

終わったときには、汗びっしょりになっていましたが、すがすがしい気分でした。学区の六年生の友だちや中学校の先輩方と一緒に、地域の公園や広場を掃除したことで、何だかこの場所に愛着がわいてきました。また、何よりも、地域のために行動できたことで達成感がわきました。

あの時の喜びを次につなげたい、後輩たちとも共有したいと考え、中学校三年生になった私は、生徒会執行部として、『クリーン作戦』の準備をしています。小学生に呼びかける立場となったのですが、上手く伝えられるかどうか不安な気持ちもあります。でも、ただ言われたからやるというのでは、自分の力にはならないし、学ぶことはできないと思うので、小学生が理解してやる気になってくれるように説明しよう、執行部の仲間とともにパワーポイントを作って、説明の練習をしています。

『クリーン作戦』には、二つの目的があります。一つ目は、自分たちの町をきれいにすること、地域の役に立つことです。二つ目は、小学生と中学生がコミュニケーションをとり、交流を深めることです。この目的をしっかり理解した上で活動を行うことが重要です。目的を理解して取り組むことで、新しい発見ができたり、考え方の幅が広

がったりして、終えた後の達成感は大きく、より自分の力になると思います。この二つの目的を分かりやすく伝えようと、自分の言葉にして何度も何度も練習しています。思いを届けるために、相手の目を見て話すように心がけて練習しています。

私は、登校中に、ある一人の男性に出会いました。その方は出勤中に、道端に落ちていたゴミを拾いながら歩いておられました。何度かそうした姿を見ましたが、その男性は会うたびに必ず挨拶をしてくださいました。私は、その方を見て、特別な行事の時だけではなく、ふだんから自分にできることをしたい、地域の人と積極的に関わる気持ちを大切にしたいと思いました。そうしてこそ『クリーン作戦』の目的が達成できたといえるのだと、あらためて気づきました。『クリーン作戦』をきっかけに、自分が地域や周りの人のためにできることが他にないか、探してみようと思います。

いよいよ来週は、小学校に行つて説明します。小学生の真剣な顔を想像しながら、今から準備を進めていきます。

【取材に協力してくださった人】平成二十九年 十日市中学校三年生 森本夏紀さん・玉井梨穂さん

【文責】深田 真規子

